



# Basecamp クイックマニュアル

Basecampとは、Garmin社が無償提供しているデータ管理するソフトウェアです。  
地図バージョン 15 では、マップソースの代わりにBasecampを使用する事で、地図画面上から  
ウェイポイント/軌跡/ルートなどのユーザーデータを作成/転送/管理する事ができます。

## <動作環境>

動作OS： WindowsXP-SP3以降、  
Windows Media Player Ver11 以上  
OpenGLバージョン1.3以降のビデオカードドライバーが対応している事  
.NETフレームワーク3.5 以上

## ■使用準備について

### 1 Basecampをダウンロード


以下より、Basecampをダウンロードします。

[http://www.iijo.net/u\\_page/basecamp.aspx](http://www.iijo.net/u_page/basecamp.aspx)

### 2 Basecampをパソコンへインストール

ダウンロードした BaseCamp\_446.exe をダブルクリックして、インストールを開始します。

### 3 Basecampを起動

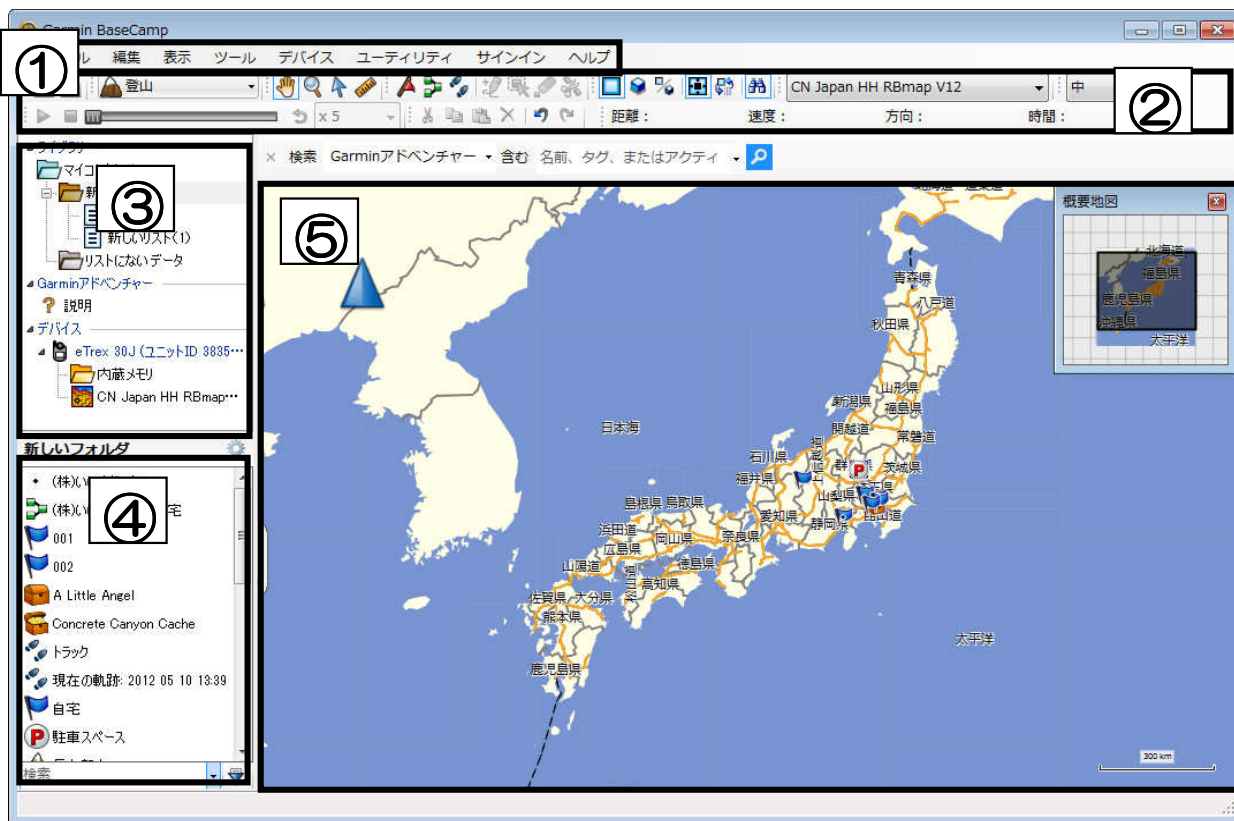
デスクトップ上に作成された「BaseCamp」ショートカットを  ダブルクリックします。

### 4 アクティビティプロファイルを選択

初めてベースキャンプを起動すると「アクティビティプロファイル」を選択します。

アクティビティプロファイルは、ご利用になるGPSのアクティビティ(使用方法)を選択します。



## ■Basecampの画面について ※詳細は、Basecamp内のヘルプをご参照下さい。



- ① メニュー： 8つのメニューでベースキャンプの操作を行います。
- ② ツールバー： 11つのツールバーは「①メニュー」で主に使用するツールをアイコンで表示します。
- ③ ライブラリ ウィンドウ： 作成したデータフォルダや接続したGPSのデータフォルダを表示します。
- ④ データ表示 ウィンドウ： ライブラリ ウィンドウで選択したフォルダまたはリストの一覧表示します。
- ⑤ 地図表示 ウィンドウ： 詳細地図を表示します。




## ■基本操作について

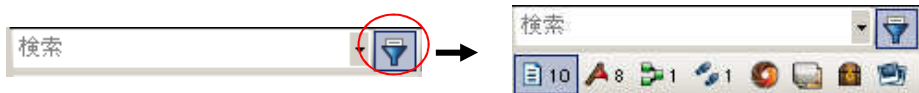
### • Basecampに詳細地図を表示する

- 1 Basecampを起動します。
- 2 GPSをパソコンへ接続します。
- 3 ライブラリ ウィンドウにGPSが認識されます。
- 4 「CN Japan NT.....」を右クリックし、「開く」を選択します。
- 5 ズームツール 、ハンドツール  などを使用しご覧になりたい場所を表示して下さい。




### • ユーザーデータをBasecamp上に表示する


- 1 Basecampを起動します。
- 2 GPSをパソコンへ接続します。
- 3 ライブラリ ウィンドウにGPSが認識されます。
- 4 「内蔵メモリ」を選択すると、データ表示 ウィンドウにユーザーデータ各種が一覧で表示されます。  
(・などウェイポイント (お気に入り)、、 など)
- 5 データフィルタアイコンを選択すると、各データが分類され、見易く表示されます。




※ 各データの詳細情報は、ライブラリ ウィンドウの各データをダブルクリックより、


### • ウェイポイント (お気に入り) を作成

- 1 ライブラリ ウィンドウのマイコレクションを選択します。
- 2 ツールバーの  ウェイポイント作成ツールを選択します。
- 3 地図表示ウィンドウで任意の場所を左クリックすると、作成されました。

※ 名称などの編集は、情報バルーン  をクリックすると、編集ウィンドウが表示されます。

### • ルートを作成


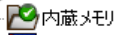
- 1 ライブラリ ウィンドウのマイコレクションを選択します。
- 2 ツールバーの  ルート作成ツールを選択します。
- 3 地図表示ウィンドウで任意の場所を左クリックすると、スタート地点が作成され、  
経由地/最終目的地をクリックする事で、自動的にルートが作成されます。

※ 名称などの編集は、情報バルーン  をクリックすると、編集ウィンドウが表示されます。

※ ルート探索の回避翻訳は以下をご参考下さい。

(幹線道路→高速/有料道路、主要幹線道路→国道、幹線高速道路→県道/一般道、  
住宅内道路→一般道/細道、未舗装道路→未舗装道路 (海外地図のみ適用))

### • ユーザーデータをGPSへ転送する

- 1 GPSをパソコンへ接続します。
- 2 ライブラリ ウィンドウにGPSが認識されます。
- 3 転送するデータを右クリックし、「送信」を選択します。
- 4 認識したGPSの「内蔵メモリ」を選択すると、データ転送が開始されます。 
- 5 「内蔵メモリ」に緑のチェックマークが表示されれば完了です。 

※ ルートデータを転送可能な機種は、zumoシリーズ、nuvi1xxxシリーズ、です。(2013/6月現在)

※ 転送されたルートの道順は、GPSへ転送後に全て一致しない場合があります。